

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	太陽の子わかば保育園
施設所在地	東京都荒川区南千住5丁目44番16号
法人名	HITOWAキッズライフ株式会社

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音 リズム 表現遊び (楽器)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・音楽が大好きな子どもたち、今回は、楽器を取り入れ色々な音やリズムに触れ体を使い表現遊びを子どもたちと一緒に楽しみたい。

2. 活動スケジュール

【楽器作りが始まる】

10月：もともと手作りの楽器に触れることができる環境が園にあった。リトミックで音楽の楽しさに気付いた子どもたちが、もっといろいろな楽器を作りたいという意欲が見られた。

【ハサミの練習を始める】

10月：楽器を作るために最初は少人数に分かれて、2歳児はハサミの使い方を学ぶ。

【本格的に楽器作りを始める】

11月：手作り楽器セットを購入し、楽器作りを行う

2歳児に影響をされて、0～1歳児も、簡単な手作り楽器を制作する。

【フルート奏者が来園する】

12月25日：クリスマス会にフルート奏者が来園し、本物のフルートの演奏を聴く。自分たちも楽器を演奏して発表したいという気持ちが高まり、さらに楽器作りを楽しんだり、演奏会に向けて練習をしたりと活動を楽しむようになる。

【お楽しみ会】

2月7日：楽器と自分たちで作った手作り楽器を使った演奏会を行う。保護者も子どもたちの演奏に影響され、ステージの上で演奏を楽しんだ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・室内：楽器を作る前に経験しておくことも（ハサミ）体験する
- ・好きなものを使って楽器が作れるよう素材を用意する
- ・興味が持てるようフルート演奏を聴き、楽しい雰囲気や環境を作った。

購入品：手作り楽器のキット、シール、はさみ、テープ類、楽器棚、画用紙、白木棚〈小〉

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【楽器作りが始まる】

大人が作った手作り楽器を触ることで、自分たちも楽器を作りたいとなった。

【ハサミの練習を始める】

ハサミを使わないと楽器を作れないことを知り、ハサミの使い方を学んだ。

集中してハサミの使い方を学んだ。子どもたちの意欲につながっていった。

【本格的に楽器作りを始める】

ハサミが使えるようになったことで購入した手作り楽器セットを使って、本格的な楽器を作ることができるようになった。（作りたいと思う容易になった）

2歳児の活動に、0～1歳も影響を受け、園全体で楽器作りが広がっていき、簡単な手作り楽器を制作した、

【フルート奏者が来園する】

プロの演奏家による、本物の演奏に触れることで、自分たちもああいう風に演奏したい、もっとカッコよく演奏したい、と子どもたちの意欲が高まり、さらに楽器作りを進めたり、楽器の練習を行う王になったりと、熱量の大きさを感じられた。

【お楽しみ会】

保護者もステージに上がり、子どもたちの作った楽器を使い、演奏を行うことで、自信をもっていった

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子どもたちの好きな曲や、簡単な曲、リズム打ちしやすい曲を流してあげると保育者の手作り楽器を鳴らし楽しそうにする姿が見られた。手作り楽器を鳴らす中で「作ってみたい」という声があったが今の子どもたちはクレヨン等しか使うことができなかつたため、ハサミの練習を少しずつ取り入れていった。また、実際に本物の楽器に触れる機会があったらより子どもたちの興味が広がると思いクリスマスにフルート奏者を招待するとフルートの演奏を聞き、「自分たちもやってみたい」「きれいだったね」等興味を示す声が聞こえてきた。ハサミも上手に使うことが出来るようになってきたため、2歳児クラスは実際に手作り楽器を作ると「きれいな色になったね」「この色が好きだから付けたんだ」と思い思いに表現し、「この楽器使ってみよう」と言っていた。その言葉があったため実際にピアノに合わせて演奏。演奏後は「誰かにみせたいよ」という声があったため、0.1歳児にお披露目すると今度は0.1歳児も興味を示し以前よりも音楽を流すと身体を揺らしたり、手作り楽器を鳴らしたり、積み木を鳴らしてみたりと楽しむ姿が見られた為、お楽しみ会では、自分の作った楽器を持ち保護者と一緒にピアノに合わせて演奏した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

①取り組み前の姿

取り組み前は手作り楽器をいつも手に取れるところに置いてあったが手に取ってもただ鳴らしているだけで音楽を楽しむという子どもたちは少なかった。

リトミック活動をきっかけに音に興味を持った子どもたちは手作り楽器が今までもあったけれども、ただ鳴らすだけだったものが、あ、これ音楽なんだという風に気づき始めた。

②取り組みによる変化

楽器を作る活動内で色々な素材に触れたり好きなものを選ぶという体験をしたりすることでこんな楽器を作りたい、こんな音を出したい、というイメージが明確になり、さらに音に対する興味が深まっていった。プロのフルート操者の演奏を聞くことで、もっと自分たちの作った楽器を使って素敵な音にしたい。みんなで演奏したいという気持ちが生まれた。

自分の作った楽器だけではなく、友達の作った楽器や音にも興味を示すようになり、音楽をたのしむようになった。

③気づき

これまで様々な環境を園で準備していたが、子どもたちの心に響く活動につながっていなかった。ハサミを使った制作活動を行うことや手作りキットを用意することで、子どもたちの制作活動の幅が広がった。

④今後への展望

今回の音楽に限らず子どもたちの様子を見ながら子どもの心を動かす環境作りを意識して他のジャンルの活動に展開していきたい。